

令和5年度 都城市立明和小学校自己評価

4：大変よい（90%以上） 3：だいたいよい（～70%） 2：もう少し（～50%） 1：よくない（50%未満）

項目	ポイント			自己評価	考 察	学校関係者評価		
	児童	保護者	職員			意見	評価	
かしこく【知】	1 授業へ楽しく参加していますか	3.5	3.3	3.1	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 学級づくりを基盤とした全員参加型の授業づくりを進めてきた。一人一授業実践を掲げ学年部で授業づくりを行ってきた。ひなた(わさび)の学びの実現に向け、指導教諭による講義や模擬授業など、実践的な研修を行ってきた。その結果「授業が楽しい(93%)」「授業が分かる(94%)」と答えた児童の割合は昨年度より伸びた。 本年度はじめ、各担任が単元テストにおける目標設定をして取り組んできた。12月現在、ほぼその目標を達成することができている。 自分の考えを発言するのが苦手と応えた児童が昨年度より減ったものの、教師から見ても課題として感じている。今後もペアや小グループでの活動を取り入れながら、自分の意見をきちんと発言できる力を身に付けさせ対話的な授業の実現を目指したい。 家庭学習については、昨年度同様個人差が大きい。本年度は、主題研究の中でも効果的な家庭学習の在り方について研修を深めた。今後も家庭との連携を図っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の努力により、児童が楽しく授業している様子が見られてありがたい。また、児童のタブレット端末の操作上達に感心している。先生方だけでなく、保護者もお子さんと一緒に見守っていただければ、さらに理解や楽しさが向上すると思う。 児童の自己評価が高く、職員の研修の成果が現れていると感じる。これに加えて学習内容が確実に定着する工夫を期待したい。また、家庭での協力を得ることも不可欠である。保護者にも、学校で行っている具体的な学習方法を提示するといののではないかと考える。(例:2年生のかけ算九九であれば、九九のカードをバラバラにしたり、百マス計算を繰り返し行ったりするなど) 自分の思いや考えを上手く表現することは難しいことである。児童は、「おもしろかった」とか「楽しかった」など短絡的に表現しがちだと思われるので、客観的に見たり俯瞰的に考えたりする場面を意図的に増やしていけたらと考える。今後の対話学習の充実に期待したい。 自分の考えを伝えることは、今後の成長においてとても大切である。そうした力が身に付くよう先生方の指導に期待したい。授業が先生対児童というより、先生と児童が一体化しているように感じる。その中で自分をどう表現していくか。今は恥ずかしくても「間違っても大丈夫、自分の意見を言えることが大切、それでいい」と、いい流れになっていくと思う。 	3.6
	2 授業内容を理解していますか	3.5	3.1	3.1				
	3 自分の考えや思いをはっきりと伝えていますか	3.1	2.9	3.0				
	4 家庭において、学年で決まった時間学習していますか (低30～50分 中50～70分 高70～90分)	3.1	2.9	2.7				
あかるく【徳】	5 学校の生活のきまりやマナーを守っていますか	3.6	3.2	3.1	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 本年度は学校自慢の「右一静歩」に加え「元気のよい挨拶」と「靴並べ」を学校の持ち味に加えよう取り組んできた。生活安全委員会の児童による玄関前での挨拶や見守り隊の皆様からの「挨拶カード」配付により、自ら声を出して挨拶できる児童が増えており、地域の方々からもそのような声が学校に届いている。 下校時や帰宅後の過ごし方に課題が見られ、地域からも連絡があった。今後も家庭・地域に啓発しながら、子どもたちの安心・安全な過ごし方をサポートする必要がある。 友達に嫌なことをしないと答えた割合(91%)は高いが、保護者や関係機関に連絡しなければならないような事案もあった。今後も「いじめ解決100%」を目指し、全員が安心して過ごせる学校にしていきたい。 「本が好きでよく読む」と答えた児童は83%であるが、保護者の意識では46%と差が大きい。学校の読書活動が家庭につながるような工夫をしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 登校中の児童の挨拶はだんだんよくなっている。学校や地域で会った時、気持ちのよい挨拶ができており、外で作業している時のほのとした気持ちになる。また、話しかけると明るく応えてくれるので学校を訪ねるのが楽しみである。 挨拶に対して、恥ずかしさや別にしなくても…と考えている子もいるのかなと感じる。学校や地域の取組が子どもたちの心に届き、気持ちのよい挨拶が飛び交うといい。 挨拶や靴並べなど、本来家庭でつづけるべき基本的なことを、学校で実践して下さっていることはありがたい。 右一静歩は、決まりを守ることの大切さや協調性の育成につながり、明和小の伝統として今後も継続してほしい。 学校での読書時間設定が、児童の読書量増加につながっているのは良いことだと思う。図書室の環境も整っており、担当職員の工夫を感じる。 児童の問題行動が地域で話題になることはなかった。気になる児童について、必要であれば地域の民生委員や公民館長などを活用してほしい。 いじめは、された方の気持ちで起こる。今、「あおられた」と言う子が多いように感じるので、コミュニケーションの在り方を一人一人に考えさせたい。 	3.4
	6 家族や友達と協力して手伝い(掃除)をしていますか	3.4	3.1	3.1				
	7 友達に傷つく言葉を言ったり、嫌がることをしたりしていませんか	3.5	3.3	3.0				
	8 読書が好きで進んで本を読んでいますか	3.3	2.5	3.3				
たくましく【体】	9 健康や安全に気をつけていますか	3.6	3.2	3.0	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々の見守りや保護者の立番により交通事故はなかったが、職員による立ち番指導と巡回指導では、危険な場面も目にした。今後も児童の交通安全への意識を高めつつ、地域と連携して登下校を見守る必要がある。 体育の授業や昼休みに遊具やボールを使ったり、子どもたちが集団で遊んだりする場面が見られ、外遊びが好きと答える児童も87%と高い。体力テストでは、長座体前屈が課題として明らかとなったため、スクールスポーツプランをもとに、体育的行事、体育学習を充実し各種の体力の維持・向上に努めたい。 早寝、早起き等に心がける児童の割合が、児童83%、保護者84%であった。一昨年と比べると大きく伸びてはいるものの、遅刻をする児童が多く、今後も家庭と連携して生活習慣の定着を図っていく必要がある。 う歯の治療を推進するために、保健便りの配付や個別のお知らせなどを行っている。12月現在、う歯の治療率が40%であるが、今後も家庭への啓発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校時の見守りは、地域の協力を大いに活用すべきである。また、登下校時の地域の方や学校職員による見守りは、とてもありがたい。散歩している地域の方からも「おかえり」と声をかけていただき、親としても安心である。 校長先生のアイデアによる見守り隊からの挨拶カードは、児童の元気のよい、素晴らしい挨拶につながっている。また、学校便りで表彰された児童の顔を見ると、やりのがいが増す。児童のモチベーションアップにつながっているため、次年度も継続してほしい。今後は、横断時の手の挙げ方(手を挙げる意味を含めて)を指導したい。 ホームページで児童が遊ぶ様子や体育的行事に参加する様子が紹介されており、児童が進んで身体を動かしたり体育に取り組んだりする姿が見られ、健康面への意識が高まっているのを感じる。 児童の視力低下が気になる。学習中の姿勢やタブレット使用後の目のケアに気を付けていただきたい。 外遊びが好きな子が87%いて驚いた。帰宅後の外遊びは減っている感じがするが、昼休みに先生方が一緒に遊ぶなど、学校の働きかけもつながっているのだろうと感じる。 	3.8
	10 外で元気よく遊んだり、運動したりしていますか	3.5	3.3	3.3				
	11 早寝、早起き、朝ご飯、朝の排便に心がけ、規則正しい生活をしていますか	3.2	3.2	3.0				
	12 歯みがきをしたり、う歯の治療をしたりしていますか	3.6	3.3	2.8				
その他	13 学校からのプリントやテスト、ファイル等を見せていますか	2.9	3.3	3.0	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 児童は、学校であった出来事を家の人に話しているようである。学校からも気になる行動については、こまめに保護者に連絡をとるなどしてきた。今後も、情報を共有しながら児童を育てていきたい。 本年度も福祉体験や郷土料理、ミシン裁縫においてゲストティーチャーを招いた。また、横市地区や五十市地区の行事に参加するなど、地域と連携した取組も以前のような形にできた活動もあった。本年度は、明和ふれあい交流フェスタを改編し、地域主体で行うことができた。 PTA活動のボランティア制移行への賛成は、保護者・職員ともに95%を超えた。次年度は、執行部の負担軽減とシグフィーのアンケート機能を効果的に活用しながら更に改善していきたい。 学校ホームページの更新を日々行ってきたことで、学校の出来事や児童の様子を伝えることができ、アクセス数が、4月の19万台から11月は30万台へと伸びた。また、シグフィーで学校(学級)やPTAからのお知らせを発信し、保護者からも好評である。シグフィーに登録された地域の皆様へも随時情報を発信できている。 上機嫌な態度で児童に接していると振り返った職員は、87%であった。今後も子どもたちに笑顔で接していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本年度、明和ふれあい交流フェスタが開催され、先生方や保護者、地域が一体となった活動ができた。児童と保護者、先生方が多数参加して下さり、素晴らしい取組となった。次年度も充実した活動になるよう願っている。 明和ふれあい交流フェスタは、①活動時間が午前中、②PTAの負担軽減、③地域も参加の点から評価できる。学校と保護者、地域が協働して作り上げた素晴らしい活動であった。課題を解決しながら今後も続けてほしい。 体育発表会も5月に開催され、児童が生き生きと活動していたのが思い出される。 地域ボランティア(ゲストティーチャー)は、児童から元気をもたらしている。今後も継続していただきたい。 直接学校へ様子を見に行く機会がなくても、HPやシグフィーを通じて日々の学校活動の様子がよく分かるのでとてもよい。子どもたちの活動のみならず、先生方の努力(研修など)も伝わってくる。 ボランティア制は善し悪しあったように思う。来年度に向けて、PTA執行部の負担軽減など再考していく必要がある。 公民館活動では、今後も可能な限り各種行事に子ども会を前面にして計画していきたい。ただ、子ども会の未加入者や脱退者が増加していることを懸念している。子ども会(支部)と公民館で意見交換しながら、早急に解決策を見つけていきたい。 	3.3
	14 学校のことを家の人に話しますか(児童)	3.4	3.3	3.3				
	15 あなたは自分の住んでいる地域の行事に参加していますか(児童)	2.9	/	2.8				
	16 学校は、ホームページやシグフィー、各種通信等で様子を伝えていますか(保護者)	/	3.3	/				
	17 本年度、学級役員制からボランティア制度へ移行したPTA活動はどうでしたか(保護者・職員)	/	3.5	3.7				
	18 上機嫌な態度で児童に接していますか。(職員)	/	/	3.1				